（別紙4（2））

株式会社　山本造園土木
事業所名：　グループホーム　茶々の里

目標達成計画

作成日：　令和　3年　3月　20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践に努めているが職員へ常に理解や周知が図れるよう身体拘束排除に向けて更に研修やマニュアル等の環境整備を強化したい。	身体拘束排除について職員全員が理解し日常的に考え振り返りができる環境を整える。	職員へ常に理解や周知が図れるよう身体拘束の3要件や身体拘束禁止の具体的行為11項目、スリーロックを施設内に掲示する。計画的な研修と身体拘束排除マニュアルの見直しを行い学ぶ環境を整える。	12ヶ月
2	35	災害対策について備蓄品の整備や定期的な点検ができておらず確実な定期点検の実施や適切に備蓄を確保できる体制を作ることで万が一の災害に備えたい。	備蓄品の定期点検や適切に確保できる体制を整える。	備蓄について、物品の整備や定期点検ができるよう備蓄一覧表の作成と点検担当者を決め、確実に定期点検を実施する。また適切に備蓄を確保し管理していく。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。